



あなん
カルチャー

■ ロレアコンサート

2016年度オーディエンス賞受賞者、理事会推薦受賞者による演奏会です。

日時 6月11日(日) 14:00開演 (13:30開場)

場所 夢ホール (文化会館)

入場料 500円 (小学生以上)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※無料託児室利用希望の方は1週間前までにご連絡ください。(☎23-5599)

出演者 山本綾子 (ソプラノ)

Sora Duo (アコーディオン&サクソ)

問い合わせは 文化会館「ロレアコンサート」係 (☎23-5599) へ



■ ウミガメ上陸に関するお願い

阿南市では「阿南市ウミガメ保護条例」に基づき、ウミガメ保護に努めています。また、阿南市内の海岸に上陸するウミガメの頭数調査を毎年実施しています。ウミガメの上陸または足跡が確認された場合は、文化振興課までご連絡ください。

問い合わせは 文化振興課 (☎22-1798) へ

■ みんなでピアノ物語 出演者募集



参加資格 小学1年生から一般の方
※ピアノを使わない演奏はご遠慮ください。

開催日時 8月19日(土)、20日(日)

場所 夢ホール (文化会館)

参加料 出演者1人あたり1,000円

※4人以上は何人でも4,000円とします。

募集期間 6月1日(木)~7月18日(火)

定員 先着各日75組

申込方法 メールまたは往復はがきでお申し込みください。(7月18日必着。ただし、定員に達し次第締め切ります。) ①名前 ②年齢 ③住所 ④電話番号 ⑤演奏曲目、作曲者(編曲者) ⑥演奏所要時間(10分以内) ⑦アンサンブルの場合は編成、譜面台、いすの必要数 ⑧開催日のうち都合のつかない日を記入してください。

※演奏会は、ケーブルテレビが収録放映する場合があります。

問い合わせは 〒774-0030 富岡町西池田135番地1 文化会館「みんなでピアノ物語」係 (☎23-5599) へ

e-mail:yumehallciviccouncil@gmail.com

■ 北條民雄文学賞受賞作品集について

北條民雄文学賞受賞作品集を、市内図書館・公民館、県立図書館、県内の市町村の図書館、県民サービスセンター(県庁1階)、県立文学書道館で読むことができます。また、購入希望の方は1冊500円で販売しますので、文化振興課までお越しください。

問い合わせは 文化振興課 (☎22-1798) へ

おもしろ科学実験 (無料)

土、日曜日の午前11時、午後2時20分から。実施時間は約30分です。

6月のテーマ

3日(土) ホタルの光の秘密を探ろう
4日(日) うずの不思議
10日(土) 海の中の小さな生き物を観察しよう

11日(日) イクラを合成しよう

17日(土) 3Dを楽しもう

18日(日) ブロックキング発振で相互誘導をしよう

24日(土) ポンポン船を走らせよう

25日(日) 地震による液状化現象を観察しよう

デジタルプラネタリウム (無料)

毎週土、日曜日の午後1時30分、3時からの2回実施。放映時間は約30分。
6月のテーマ「今夜の星空と流星のお話」

阿南市の文化財

阿南市文化財保護審議会

会長 湯浅良幸

阿波の藩札 (十六)

閑話休題

かんわきゆうだい。この言葉に目にかかることは殆どなくなつた。閑話休題(話を本筋にもどすときに用いる語)。むだばなしはさておいて。

さて、本年四月、私は阿南市文化財保護審議会委員に再任された。三十期目だから阿南市発足と同時にいうことになる。初任二十八歳の時である。「馬齢」とは自分の年齢の謙称とある(「広辞苑」による)。しか

し、「馬齢を重ねる」ということになる。いささかニュアンスが異なる。つくる。

贋札対策

徳島藩では地方に銀札目付(既述)を置いて似せ札の取締りに当たさせた。前号にも書いたように村で似せ札犯人を出すと、村全体の連帯責任とした。

藩の法令に「似せ札や疑わしい札を持つていたり行使する者があれば銀札場へ連行して取調べを行い銀札奉行に報告せよ」とある。

似せ札と疑わしい札を所持している者は銀札場で鑑定を受けよとある。なお、似せ札と決定した場合、所持に至つた事情を厳しく究明された。

他国の者が宿泊した場合、宿主は荷物を調べ似せ札の有無を検査せよと命じられている。もし、似せ札を所持しておれば速かに役人へ引き渡せとある。また、検査後、旅人に藩札を買わせよと命じている。

領内で宿泊しない者は、どのような通貨を自由に使つてもよい。しかし、宿泊する者には必ず藩札を使用させよとある。日帰りで来た者にも藩札を使用するように勧めよとある。宿主に警察官のような仕事をさせて

いたことが分かる。

年貢、税金納入は金銀貨でも札でもよい。ただし、札で上納する場合は、二分の歩合を加えなければならぬ。更に札包みにしなければならぬ。その場合、銀百文に付銭二十文の包み賃を必要とした。

藩当局は藩士を江戸あるいは他国へ派遣する場合、金銀貨を遣わした。

寺社(僧侶・神職)に対する御初穂、御布施あるいは御香典並びに座頭、ろう者、他国者への金銀銭、米麦使用は従来通りでよい。

金銀貨による借金は同額の藩札をもつて支払つてもよいこととした。しかし、当事者から反対意見があつたが、藩は聞き入れなかつた。

享保十五(一七三〇)年以降においても「借金証書」に金銀貨をもつて支払うことを約束したものがあつた。藩札と同価値と認めない実例もあつた。

藩士その他の者から御札を差し上げる時、従来通り金銀とした。

藩は銀札場以外において一切の札売買を禁止した。

参考 湯浅良幸著『阿波貨幣史』(続く)

科学センター



ホームページ <http://www.ananscience.jp/science/>

宇宙の日記念 全国小中学生作文絵画コンテスト作品募集

科学センターでは、9月12日の宇宙の日を記念して、小中学生の皆さんから作文と絵画を募集します。

作品のテーマ「月へ」

作文・絵画とも、テーマに沿つた内容でお書きください。作文は自筆のものとし、400字詰め原稿用紙2~5枚。絵画は画材自由でA2サイズ以下の用紙を使用してください。

応募方法 作品の裏に、氏名、学校名、学年、年齢、住所、連絡先の電話番号、作品への思いを100字以内で記入のうえ、科学センターまでお送りください。
募集の締め切り 7月30日(日)(必着)
応募者全員にもれなく参加賞をプレゼントします。

なお、科学センターへ応募された作品のうち、最優秀作品は全国大会に出品されます。

問い合わせは 科学センター

(☎42-1600) へ

6月の休館日

5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)